

## 親子食育体験(酪農版)の概要

平成20年11月7日  
千葉農政事務所消費生活課

- 1 実施日時：平成20年11月1日(土) 午前8時30分～午後5時
- 2 実施場所：いすみ市 「高秀牧場」
- 3 主催：関東農政局千葉農政事務所・生活協同組合ちばコープ
- 4 目的：酪農の現場を訪ねて酪農の仕事を体験し、小学生を中心とする消費者親子に「命をいただく」という食の原点について考えるきっかけとしていただくことを目的とする。
- 5 参加者：県内在住親子18組40名(親19名、子21名)
- 6 対応者：農政事務所2名、ちばコープ2名

### 7 概要：

- ① 当日は8時30分に千葉駅前に集合し、バスで「高秀牧場」に向かいました。車中では、主催者を代表し、齋藤消費生活課長から「望ましい食生活の実現に向けた食育の推進の一環として、本日は酪農体験を実施します。農林水産省の究極の目標は食料自給率の向上であります」と説明し、「良い思い出づくりのためにも、楽しく参加して下さい」とあいさつを行いました。



【いすみ市・高秀牧場】

その後、参加者同士の交流を図るために自己紹介をしていただき、牧場での体験や話の中から正解を探してもらうための「**牧場探検クイズ**」を出題しました。

- ② 「高秀牧場」に到着し、高橋代表からあいさつとスタッフの紹介、注意事項の説明がありました。その後の**牧場案内**では、牛舎で牛のエサや牛の生態について、搾乳施設では衛生管理のことなどが話されました。また、糞尿は堆肥や液肥として再利用されることなどが話されると、参加者からは感嘆の声が挙がっていました。



【牛舎で説明する高橋代表】



【エサの説明】



【堆肥や液肥に処理】

- ③ **酪農体験**は2班に分かれて「**エサやり**」と「**乳搾り**」を全員で体験しました。牛のエサを自分たちで牛舎まで運び、牛たちにあげました。乳搾りでは、指の使い方を教えてもらい搾った後、直接口に搾ってもらったり、子供たちは大喜びでした。



【牛たちにエサをあげました】



【乳搾り体験中】



- ④ 一般のコープ牛乳と八千代牛乳の**飲み比べ**をした後、みんなで**バター作り**に挑戦しました。千葉北部酪農が用意した容器を一人10～15分、必死で振り続け、できたバターをクラッカーに付けて食べました。そしてお待ちかねの昼食は、**バーベキュー**です。お肉やウインナー、野菜や焼きそば、みんなでおいしくいただきました。



【牛乳の飲み比べ】



【バランスガイドの学習会】

昼食後に、農政事務所職員から「**食事バランスガイド**」の**学習会**を行い「食事バランスガイド」を理解してもらいました。牧場探検クイズの正解発表と解説が行われ、全問正解した家族には、ちばコープから賞品が贈られました。

- ⑤ 最後に、本日の酪農体験にご協力いただいた「高秀牧場」のスタッフよりごあいさつがあり、参加者アンケートを記入してもらい、参加者全員で記念撮影を行って、千葉への帰途につきました。

今回の食育体験(酪農版)に参加した子どもたちからは、「乳搾りを始めて体験できたことが楽しかった」「酪農家の新鮮な牛乳作りの努力を知って驚いた」「バーベキューがおいしかった」「家でも家族にバターを作ってあげたい」などの感想があり、有意義な一日だったようでした。

しかし開催にあたって、公募者が予定定員の2倍を超えたため、厳正な抽選で参加者を確定したことから、参加をお断りした家族もあったことが残念でした。



【全員で記念撮影】